

性能、機能等に関する要件

1 導入するシステムは以下の基本要件を満たすこと。
(1) 内視鏡部門システム及び生理検査部門システムはアーキテクチャ及びデータベースを共有する 1 つのシステムで稼動すること。
(2) 院内のPACSと連携し、内視鏡部門で取得する画像の保存を行うこと。
(3) 内視鏡部門システムから発生する検査結果・レポートについてはすべて当院の検査統合参照システムに連携を行うこと。接続に係る費用はすべて入札金額に含めること。
(4) 内視鏡部門システム及び生理検査部門システムのいずれも当院の電子カルテ端末上で使用できること。
(5) 医療法改正、診療報酬改定等による導入ソフトウェアの追加・修正対応、運用変更等に伴うマスタの変更が容易なシステム構築を確立し、必要なソフトウェア、マスタを提供すること。また、保守範囲内で対応し、別途の費用が不要であること。
(6) 当院の基幹システム（ソフトウェア・サービス社電子カルテ、オーダリング、医事、看護、その他カルテ機能に直接関わるシステム群）との連携については、基幹システムベンダと十分な協議を行い、円滑かつ安全な利用を保証すること。また、連携における基幹システム側費用についても、入札金額に含むこと。
2 ハードウェアは以下の基本要件を満たすこと。
(1) データベースサーバ（ラック型）：1台は以下の要件相当以上であること。
ア 【CPU】 Xeon E-2434,3.4G,8M キャッシュ,4C/8T ターボ
イ 【メモリ】 32GB（16GB×2）
ウ 【RAID】 RAID5+HS
エ 【HDD構成】（600GB SAS 12Gbps 512n 2.5インチ ホットプラグ）×6
オ 【OS+CAL】 Windows Server® IoT 2022 Standard（16Core,5 Clt）
カ 【データベースソフト】 Oracle Database ライセンス
(2) ゲートウェイサーバ（ラック型）：1台は以下の要件相当以上であること。
ア 【CPU】 Xeon E-2434,3.4G,8M キャッシュ,4C/8T ターボ
イ 【メモリ】 16GB（16GB×1）
ウ 【RAID】 RAID5+HS
エ 【HDD構成】（1.2TB SAS 12Gbps 512n 2.5インチ）×4
オ 【OS+CAL】 Windows Server® IoT 2022 Standard（16Core,5 Clt）
(3) 無停電電源装置は以下の要件相当以上であること。
ア サーバ本体を5分以上バックアップする機能を有すること。
イ 停電を感知し、異常信号をサーバ装置本体へ通知する機能を有すること。
(4) サーバラックは以下の要件相当以上であること。
ア サーバラックについては既設のものをを使用すること。
イ 18.5型 フラットパネルモニタ 解像度1280×1024相当
ウ 8ポートコンソールスイッチ
エ ギガビットスイッチングHUB 16ポート
(5) クライアント端末（デスクトップ）：3台は以下の要件相当以上であること。
ア 【CPU】 インテル®Core™ i5-13500（14C/2.5GHz/24M）
イ 【メモリ】 8GB（8GB×1）DDR4-DIMM 3200MT/s
ウ 【OS】 Windows 10 IoT Enterprise 2021
エ 【SSD】 256GB
オ 【モニター】 EIZO FlexScan EV2460（解像度1920×1080）

(6) 管理者端末（ノートPC）：1台は以下の要件相当以上であること。
ア 【CPU】 インテル®Core™ i5-1335U（10C/最大4.60GHz/12M）
イ 【メモリ】 8GB（8GB×1）DDR5 5600MT/s
ウ 【OS】 Windows 10 IoT Enterprise 2021
エ 【SSD】 256GB
オ 【ディスプレイ】 15.6インチ FHD（1920×1080）
(7) 内視鏡動画保存用NASは以下の要件相当以上であること。
ア 実効容量16.0TBのタワー型NASであること。
(8) 備品は以下の要件相当以上であること。
ア A4カラーレーザープリンタ：1台
イ 内視鏡画像取込端末用バーコードリーダ：3台
ウ 内視鏡洗浄履歴管理端末用バーコードリーダ：2台
エ 内視鏡洗浄履歴管理用バーコード発行プリンタ：1台
(9) 画像取込端末：3台は以下の要件相当以上であること。
ア 映像入出力端子はDVI、SDI（3GSDI、HD-SDI、SD-SDI）に対応していること。
イ 画像を素早く取り込むことができ、1検査600枚以上の画像記録が行えること。
ウ 10/100/1000Base-TXのネットワークインターフェースを有すること。
エ 記録画像サイズは640×480（NTSCサイズ）～1920×1080（ハイビジョンサイズ）及びSVGA、XGA、SXGAの各種サイズに対応していること。
オ 画像ファイル形式は、静止画（JPEG及びTIFF）に対応していること。
カ 画像記録保存用に500GB以上のSSDを内蔵していること。
キ JIS規格（JIS T 0601-1:2023）に準拠していること。
ク 当院所有の内視鏡ビデオシステムに接続すること。
ケ 受信した画像をDICOMに変換し、PACSに送信できること。送信の際には複数の送信先サーバから送信先を手動で選択できること。
コ MWM接続・MPPS接続に対応していること。
サ タッチパネルを搭載し、検査の「開始」、「終了」の操作が簡単に行えること。
シ 取得した画像データはPACSに転送後も内蔵SSD内に一定期間保存可能であること。
ス 院内ネットワークから切断した状態で画像記録ができ、再度接続した際にはPACSに自動でデータを送信、登録できること。
セ エラー発生時には、メッセージ表示及び音声によりエラー状態を通知できること。
ソ 内視鏡検査等において、動画ファイルの取得が可能であること。ファイル形式はH.264に対応すること。
タ 内視鏡検査等において、音声の取得が可能であること。
チ 動画参照用Viewerから本端末を指定し、検査中のライブ映像を参照できること。
ツ 患者IDをバーコードで読み取った際、本端末を経由し内視鏡装置のモニタに患者情報を表示できること。また、観察モニタに表示されているデータを保存する際には、患者情報を添付したまま取り込むかどうかを選択できること。
テ タッチパネルを使用し、過去のレポート情報及びレポート添付画像を参照できること。
ト 保守サポートの観点から、本システムと同じ会社の製品であること。
3 内視鏡部門の運用については、以下の要件を満たすこと。
(1) 受付・ワークリスト管理については以下の要件を満たすこと。
ア 電子カルテから内視鏡検査のオーダーを受信し、一覧で表示できること。

イ	検査予約済の患者リストを表示できること。
ウ	以下の進捗を管理することが可能で、かつ、アイコンや色等により状況の確認ができること。 未受付・受付済・問診入力済・前処置入力済・検査中・検査終了・所見作成・所見仮保存・所見作成中・所見作成完了・組織診依頼済・組織診結果取得・組織診結果参照済
エ	カレンダー機能を有し、選択した日の検査データをワークリスト上に表示できること。
オ	カレンダー機能において、マウス操作により日付の範囲指定ができること。
カ	検査オーダーを選択し受付できること。また、受付時に自動で受付票の印刷ができること。
キ	入院患者を電話呼び出しした際に、電話呼び出しが完了したことをワークリストに明示できること。
ク	ワークリスト上で受付コメントを簡便に入力できること。
ケ	以下の項目から任意に選択しワークリスト上に表示できること。 患者ID、氏名、性別、生年月日、身長、体重、電話呼出、進捗ステータス、検査項目、検査内容、受付コメント、緊急、臨床診断、主訴、検査目的、特記事項、禁忌、患者呼出時刻、受付時刻、検査開始時刻、検査終了時刻、病棟、依頼医
コ	ワークリスト画面から予約詳細の確認を簡便にできること。
サ	ワークリスト上で、検査項目、患者ID、患者氏名、検査年月日及び検査ステータス情報による検索ができること。
シ	ワークリストの表示について、端末ごとのデフォルト設定ができること。
ス	電子カルテシステムのシステムダウン時に備え、生理機能検査依頼情報を作成、登録し検査を続行する機能を有すること。
セ	部屋割りの機能を有すること。
ソ	部屋割機能は専用のGUIを有し、受付済ワークリスト上の検査を部屋枠にドラッグ&ドロップすることで割付できること。
タ	部屋割情報と画像取込端末とを連携し、患者属性の連携ができること。
チ	部屋割機能について、氏名アイコンをドラッグ&ドロップすることにより、医師、看護師、技師の割付ができること。
ツ	部屋割機能により割り付けた、医師、看護師、技師を内視鏡検査レポートに反映できること。
テ	各部屋で実施している検査項目や検査開始からの経過時間を一目で表す状況表示機能を有すること。
ト	ワークリスト上で、指定した患者の患者IDやオーダー番号を右クリックによりコピーできること。
(2) 所見登録機能については以下の要件を満たすこと。	
ア	検査レポートの作成ができること。
イ	検査レポートは院内ネットワークに接続されたすべての電子カルテ端末で記載できること。
ウ	以下の項目を含む内視鏡検査レポートの作成ができること。 患者ID、患者名、性別、生年月日、年齢、検査実施年月日、検査者名、検査装置種別、機種名、検査実施項目、検査部位、病変部位、所見名、診断名、処置、コメント、検査画像、シエーマ図、ピロリ菌検査、挿入方式、到達部位
エ	レポートはセキュリティ及びトレーサビリティの担保のため、版管理ができること。
オ	確定後のレポートを編集する場合は、次版を作成するものとし、過去に作成されたレポートは版ごとにすべて保存されていること。また、過去に作成された版番のレポートをレポート作成中に、同一端末で参照できること。
カ	同一検査項目の直近の過去データを1クリックで転記できること。

キ	ドラッグ&ドロップ操作でキー画像を選択できること。
ク	PACSに保存されたX線及びMRIなどの画像をドラッグ&ドロップ操作で添付できること。
ケ	PACSに保存されたX線及びMRI等の画像をキーイメージとして添付できること。
コ	レポートに添付されたキー画像をダブルクリックすることで、画像Viewer上に添付元の画像を展開し、参照できること。
サ	10枚以上のキー画像をレポートに添付できること。
シ	キー画像の添付の際に、ツールバー等を起動せずにマウス操作で画像の拡大ができること。
ス	キー画像の添付の際に、ツールバー等を起動せずにマウス操作でパンニングができること。
セ	ツールバーを使用することなく、マウス操作により画像の拡大とパンニングが連続操作できること。
ソ	内視鏡レポートはマスタ入力式であること。マスタはサンプルマスタを基に修正・カスタマイズ可能であること。
タ	部位、診断、所見、処置及びバイオプシのそれぞれをマスタ式で入力できること。
チ	マスタ入力については、部位、診断、所見の順に階層となっており、階層別で用語表示できること。
ツ	部位は部位名+詳細部位の表示が可能であること。詳細部位は3階層+補足の階層を有し、かつ、詳細部位は部位名に紐づけられており、入力された部位に応じた詳細部位のみが表示されること。
テ	所見は診断の入力により、該当する診断を表す所見項目のみが表示され、かつ、所見項目の分類により単数選択及び複数選択の設定が可能であること。また、所見項目は必要な数を設けることができること。
ト	所見は表示されたマスタの中から複数選択できること。
ナ	診断は表示されたマスタの中から複数選択できること。
ニ	レポート入力中、別の検査項目に紐づいたマスタからも選択できること。
ヌ	所見・コメント内容の定型文は、自由に追加、修正及び削除でき、かつシステム別、ユーザー別に保存できること。
ネ	所見・コメント内容の定型文については、複数のテキストを選択した場合、選択したテキスト同士の区切りは改行、コンマ及びスペースのいずれかから選択できること。
ノ	検査全体についてのコメント欄は拡大して利用できること。
ハ	異常のない患者については、ワンクリックで各検査項目に対応した部位をまとめて「異常なし」の登録をできること。
ヒ	直近の同一検査項目のレポートデータをワンクリックで引用できること。
フ	選択した日付の検査レポートから任意のレポート項目をマウス操作で簡便に引用できること。
ヘ	検査種別にシェーマを保有できること。
ホ	検査レポートにシェーマを添付できること。
マ	シェーマの追加ができること。
ミ	仮報告状態の検査レポート（未完了検査を含む）はレポート上に仮報告状態であることを明示したうえで院内に配信できること。
ム	一時保存が可能で、一時保存状態では院内に配信しないこと。
メ	電子カルテシステムにおいて、患者ID連携により該当患者の検査履歴を表示できること。
モ	電子カルテシステムにおいて、オーダ番号に対応するレポートを直接参照できること。
ヤ	合併症、偶発症の登録ができること。

ユ	シェーマ及び画像について、以下のアノテーションが使用できること。 直線、円、矩形、矢印、文字入力、色、修正ペン（シェーマの修正）及び消しゴム
ヨ	マスタ入力された診断、所見、処置での検索ができること。
ラ	入力された検査レポート情報を病理依頼書に自動で転記できること。
リ	病理依頼書のフォーマットは内視鏡レポートの印刷フォーマットと異なるフォーマットを用意すること。
ル	内視鏡レポート内に、病理診断を記載できること。
レ	各種検査レポートをプリンタ出力できること。印刷フォーマットは検査項目毎に設定でき、入力用のフォーマットと区別すること。
ロ	レポートソフトウェアは、バージョンアップ管理や本システムを更新する際のデータ移行を考慮し、汎用ソフトウェアではなく、導入するシステムと同一のメーカーが開発したレポートソフトウェアであること。
ワ	離席機能を有し、手動による離席、時間経過による離席のいずれも行えること。またレポート画面で離席機能を使用した際には、レポートが一時保存されること。
ヲ	内視鏡レポートはJ E Dマスタに準拠し、文言の修正や追加ができること。
ン	気管支鏡レポートはJ B Dマスタに準拠し、出力できること。
ア'	J E D及びJ B Dに対応した患者背景情報の入力及び出力ができること。患者背景情報の入力については過去履歴の転記が可能であること。また、入力項目の初期設定ができること。
(3) 病理連携については以下の要件を満たすこと。	
ア	内視鏡部門システムにおいて、細胞診及び組織診のいずれの病理依頼書も発行できること。
イ	電子カルテの病理オーダ画面を起動することなく、オーダリングシステムを経由して、内視鏡部門システムから病理オーダを発行できること。
ウ	内視鏡部門システム上で病理結果の、「未受理」、「既受理」及び「病理オーダをした医師の結果の確認状況」が進捗管理できること。
エ	病理システムに記載された病理結果レポートをURLによるリンクで表示できること。
オ	内視鏡部門システムから病理オーダを発行する機能を用いた場合、オーダリングシステムから直接入力される病理オーダと同様に、電子カルテシステムにオーダ歴を自動記録できること。
カ	内視鏡部門システムから病理オーダを発行する機能を用いた場合、オーダリングシステムから直接入力される病理オーダと同様に、医事会計システムへ会計データを転送できること。
キ	内視鏡部門システムから病理オーダを発行する機能を用いた場合、オーダリングシステムから直接入力される病理オーダと同様に、電子カルテシステムの既読管理一覧に自動表示できること。
(4) 洗浄消毒履歴管理については以下の要件を満たすこと。	
ア	内視鏡部門システムにおいて、洗浄消毒履歴を管理する機能を有すること。
イ	使用したスコープの洗浄履歴が自動で内視鏡検査データと紐づけられ、どのオーダの検査で使ったのか、管理できること。
ウ	トレーサビリティの徹底のため、患者名で検索をすることにより該当患者に使用したスコープ名（型番）、洗浄履歴、利用者、洗浄者等の情報を表示できること。
エ	内視鏡洗滌消毒装置の各種フィルターの交換履歴を管理できること。
オ	消毒液の濃度チェックの結果を記録できること。
カ	1台の内視鏡洗滌消毒装置で2本同時に洗浄する場合においても、対応できること。
キ	洗浄液の利用回数等の管理ができること

ク 各部屋の検査の実施状況（検査項目、患者名、実施者、検査開始からの時間）を表す機能に加え、洗浄機の稼働状況についても表示できること。
(5) 動画記録については以下の要件を満たすこと。
ア 2(9)に定めた画像取込端末を用いて動画の保存ができること。
イ 動画形式はH.264で取得・保存できること。
ウ 保存された動画は、患者IDや患者氏名による検索ができること。
エ 容量が不足する際に、過去のデータの自動削除ができること。
オ 自動削除の対象としないデータを保護するロック機能を有すること。
カ 保存された動画の指定位置を切り出す機能を有すること。
キ 保存された動画は複数箇所の切り出しが可能で、かつ、切り出した複数の動画を1つのファイルにつなげて管理及び出力できること。
ク 動画のメディア出力については、wmv、mp4、m2tsのファイル形式に対応すること。
ケ 付箋機能を有し、付箋を用いた検索ができること。
コ 動画は、2(5)のクライアント端末で参照できること。
(6) 他院画像取込・書き出しについては、以下の要件を満たすこと。
ア 他院からの持ち込みの画像を、当院のPACSに保存できること。
イ DICOM、JPEG形式等のファイルをオフラインで登録できること。
ウ 当院のPACSに保存されているデータを簡単な操作で出力できること。
4 生理検査部門システムの運用については、以下の要件を満たすこと。
(1) 受付機能・ワークリスト機能については以下の要件を満たすこと。
ア 生理検査オーダの状況を、「依頼中」、「受付済」、「検査中」、「実施済」、「仮報告」、「報告済」及び「中止」に区分し、管理できること。
イ 生理検査オーダ状況の一覧について、「検査種別」、「患者ID」、「カナ氏名」、「性別」、「生年月日」、「入外区分」、「診療科」、「病棟」、「検査日（日付範囲）」及び「検査状態」で検索し、その結果を一覧表示できること。
ウ 生理検査室設置の各電子カルテ端末ごとに検索条件の初期状態を設定できること。
エ 4(1)イによる検索結果画面に「検査日」、「検査時間」、「検査種別」、「検査項目」、「患者ID」、「氏名」、「カナ氏名」、「性別」、「生年月日」、「年齢」、「体重」、「身長」、「診療科」、「病棟」、「検査状態」、「依頼医」及び「検査コメント」を表示できること。
オ 電子カルテシステムのシステムダウン時に備え、生理機能検査依頼情報を作成、登録し検査を続行する機能を有すること。
カ 生理検査オーダ状況の一覧について、各項目別に表示順を並び替えることができること。
キ 生理検査オーダ状況の一覧について、表示する項目や表示順を各端末ごとに任意に設定できること。
ク 生検検査オーダ状況の一覧について、検査状態別に色分けして表示できること。
ケ 生理検査オーダ状況の一覧について、各検査状態別の合計件数を表示できること。
コ 生理検査オーダ状況の一覧について、状況を一定時間ごとに自動更新できること。
サ 患者IDカード、バーコード等により、該当患者の当日の検査一覧を表示できること。
シ 検査ラベルにバーコードを印字できること。
ス 検査受付時及び任意のタイミングで、指定された書式で検査ラベルを印刷できること。
セ 受付操作により、検査状態を「依頼中」から「受付済」に変更できること。
ソ 複数の検査を選択し、一度に受付操作を行うことができること。

タ	生理検査オーダ状況の一覧について、選択した患者における当日の生理検査オーダー一覧を表示できること。
チ	生理検査オーダ状況の一覧の内容を検査ワークシートとして、任意のタイミングで印刷できること。
ツ	検査受付時、オーダ確認操作により電子カルテシステムで依頼されたオーダの詳細情報（至急検査依頼、出張検査依頼等）を参照できること。
テ	受付時に検査項目に応じた帳票を発行できること。
ト	部屋割機能は専用のGUIを有し、受付済ワークリスト上の検査を部屋枠にドラッグ&ドロップすることで割付できること。
(2) MEファイリングシステム連携、ME機器連携機能については以下の要件を満たすこと。	
ア	生理機能検査ファイリングシステムと接続できること。
イ	生理機能検査オーダ情報受信時及び生理機能検査受付操作時に生理機能検査オーダ情報を生理機能ファイリングシステムへ送信できること。
ウ	生理機能検査ファイリングシステムから検査開始状況を受信し、検査進捗状態を受付済から検査中に自動で変更できること。
エ	生理機能検査ファイリングシステムから検査終了情報を受信し、検査進捗状態を検査中から実施済に自動で変更できること。
オ	生理機能検査ファイリングシステムから検査報告情報を受信し、検査進捗状態を実施済から報告済に自動で変更できること。
カ	将来、新しいシステム及び機器を導入する際、インターフェイスを構築できるものであればメーカーを問わずオーダ連携、結果連携、Viewer連携及びステータス連携ができること。
キ	将来、新しいシステム及び機器を導入する際、数値データをtxtファイルやcsvファイル等で送信できるものであれば、メーカーを問わずテンプレートレポートでの取込みができること。
(3) 波形ファイリングシステム連携については以下の要件を満たすこと。	
ア	生理機能検査オーダ情報受信時及び生理機能検査受付操作時に生理機能検査オーダ情報を波形ファイリングシステムへ送信できること。
イ	生理検査部門システムから波形ファイリングシステムが保有する波形情報を参照するためのリンクボタンを自動で作成できること。
ウ	波形ファイリングシステムから検査進捗情報を受信し、生理検査部門システムの検査進捗状態を自動で変更できること。連携する検査進捗情報の種類については、柔軟に設定できること。
5	始業点検及び就業点検について、以下の要件を満たすこと。
(1)	点検の対象とする機器は任意に登録できること。
(2)	登録した機器別の始業点検項目及び終業点検項目を任意に設定できること。
(3)	各点検項目はチェックボックス形式等での点検状況の入力及び資料の取込みとのいずれもできること。
(4)	入力した内容を帳票として、出力及び印刷できること。
(5)	機器登録や点検項目の設定については、管理者ユーザーでのみ設定できること。
6	既存データの引継ぎについて、以下の要件を満たすこと。
(1)	現在導入されているNEXUS上のデータをすべて新システムに移行すること。また、データ移行については、移行障害等の防止のため、既存のサーバの販売元である富士フィルムメディカルにおいて作業実施するものとし、作業に係る費用は入札金額に含めること。

7	検索、集計、統計機能機能について、以下の要件を満たすこと。
	(1) 検査日報、検査月報及び検査年報について、それぞれ指定された書式で印刷できること。
	(2) 内視鏡レポートの検索においてレポート記載と同様のマスタで検索項目を設定できること。
	(3) 検索条件については、全ユーザー共有及びユーザー別のいずれも保存できること。
	(4) 診断名、所見及び全体コメントのテキスト情報で検索ができること。検索については、全部一致検索及びあいまい検索のいずれもできること。
	(5) 検索項目については各項目をand及びorで連結できること。連結した検索条件は着色した傍線等により視認しやすくすること。
	(6) csvファイルに出力する際には、項目を指定し出力できること。
	(7) 検索範囲はレポート内容だけでなく、会計実施、JED患者背景情報も含めること
8	BIツールについて、以下の要件を満たすこと
	(1) 本システムに入力されたデータはセキュリティの確保された専用回線を経由しクラウドサーバに登録されること
	(2) 本システムにおいて保持する次の情報を用いて集計機能が利用できること。「予約時間」、「受付時間」、「開始時間」、「実施時間」、「仮報告時間」、「報告時間」、「依頼科」、「依頼医」、「検査者」、「報告者」及び「検査装置名称」
	(3) クラウドサーバに登録されたデータを基に「検査数」、「平均検査数」、「検査所要時間」、「最終検査終了時刻」、「レポート時間」、「患者待ち時間」、「待ち患者人数」、「検査室別稼働率」、「検査装置別稼働率」を自動でグラフ化できること。なお、グラフの形式については、棒グラフ、線グラフ及び円グラフに対応すること。
	(4) 8(3)のグラフはクロス分析グラフに切り替えることができること。また、同一グラフ上に異なる軸のグラフをオーバーラップすることができること。
	(5) 検査時間の分析のため、オーダを選択し検査開始をクリックすることで、検査開始時間を記録できるシステムであること。
	(6) 内視鏡洗滌消毒管理のデータを基に、スコープの稼働状況や回転率を把握できるグラフが作成できること。
	(7) 出力されるデータは「年度別」、「月別」、「日別」、「検査者別」、「検査種別」、「検査室別」及び「検査機器別」に切り替え出来ること。
	(8) システム上に表示されたグラフをクリックすることでPNG形式の画像データとしてダウンロードできること。
	(9) システム上に表示されたグラフをクリックすることでCSV形式の数値データとしてダウンロードできること。
9	保守について、以下の要件を満たすこと。
	(1) 導入後の無償保証期間については、令和9年3月31日までとすること。
	(2) 保守対応可能年数は導入後7年以上であること。
	(3) 故障時等の迅速な対応のため、高松市内に営業所を有すること。
	(4) すべての機器について、日本語版の操作マニュアルを納品すること。
10	画像診断用医用画像モニタについて、以下の要件を満たすこと。
	(1) 19インチ 1MP カラー液晶モニタ：19台は以下の要件相当以上であること。
	ア 【画面サイズ】 対角19インチ
	イ 【解像度】 1280×1024
	ウ 【視野角】 水平178°、垂直178°
	エ 【コントラスト比】 2000 : 1

オ 【最大輝度（標準値）】 350cd/m2
カ DICOM Part14準拠
キ JESRA X-0093（管理グレード2）準拠
(2) 21.3インチ 2MP カラー液晶モニタ：2台は以下の要件相当以上であること。
ア 【画面サイズ】 対角21.3インチ
イ 【解像度】 1200×1600
ウ 【視野角】 水平178°、垂直178°
エ 【コントラスト比】 1800：1
オ 【最大輝度（標準値）】 500cd/m2
カ DICOM Part14準拠
キ JESRA X-0093（管理グレード2）準拠
ク JESRA X-0093 医用画像モニタの品質管理に関するガイドラインに準拠したキャリブレーションを行うためのベゼル格納式測定センサを搭載すること。
(3) 21.3インチ 3MP カラー液晶モニタ：8台は以下の要件相当以上であること。
ア 【画面サイズ】 対角21.3インチ
イ 【解像度】 1536×2048
ウ 【視野角】 水平178°、垂直178°
エ 【コントラスト比】 1800：1
オ 【最大輝度（標準値）】 1100cd/m2
カ DICOM Part14準拠
キ JESRA X-0093（管理グレード1A）準拠
ク JESRA X-0093 医用画像モニタの品質管理に関するガイドラインに準拠したキャリブレーションを行うためのベゼル格納式測定センサを搭載すること。
(4) モニタ品質管理ツールを備え、設置時に試験を実施すること。
11 画像制御端末について、以下の要件を満たすこと。
(1) 画像制御端末本体（デスクトップPC） X線一般撮影室：4台 OPE室：1台は以下の要件相当以上であること。
ア 【CPU】 Intel Core i3-12100（3.3GHz）
イ 【メモリ】 8GB（8GB×1）
ウ 【内蔵HDD】 SATA 1TB×2
エ 【内蔵光学ドライブ】 DVDライター
オ 【ネットワークI/F】 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
(2) 21.3インチ 2MPカラー液晶モニタ：5台は以下の要件相当以上であること。
ア 【画面サイズ】 対角21.3インチ
イ 【解像度】 1200×1600
ウ 【視野角】 水平178°、垂直178°
エ 【コントラスト比】 1800：1
オ 【最大輝度（標準値）】 500cd/m2
カ DICOM Part 14準拠
キ JESRA X-0093（管理グレード2）準拠
(3) 当院で稼働中のX線一般撮影装置との連携及びフラットパネル並びにFCRの制御ができること。
(4) 17インチ×17インチ、14インチ×17インチ及び10インチ×12インチサイズのFPDと接続可能であること。

(5) 「階調処理」、「周波数処理」、「マルチ周波数処理」、「ダイナミックレンジ圧縮処理」、「黒化处理」、「ノイズ抑制処理」、「グリッド除去処理」及び「散乱線抑制処理」ができること。
(6) 散乱線抑制処理は、胸部及び腹部だけでなく骨盤、股関節等の整形領域にも対応できること。
(7) 「階調処理」、「周波数処理」、「マルチ周波数処理」、「ダイナミックレンジ圧縮処理」、「ダイナミック処理」及び「散乱線抑制処理」に関してはパラメータ変更が可能であること。
(8) PACSへ画像を転送する際の規格はPrivate CR Storage、CR Image Storage、MG Image Storage for Presentation、DX Image Storage for Presentationから選択できること。